

# こどもの意見反映の取組 事例集

豊田市 こども・若者政策課



## ①シールで意見をきく（イベントの活用） …高岡支所

交流館のふれあい祭りで、来場者に普段の生活の中で自分がヒヤリと感じたところにシールを貼ってもらった。

→これをもとに交通安全危険箇所マップを作成

- ✓ 01 業務における「こども視点」を考えてみる
- ✓ 02 目的・テーマを考える
- ✓ 03 意見を聴く方法を考える
- ✓ 04 意見を聴く
- ✓ 05 意見の反映を検討する
- ✓ 06 結果をフィードバックする

- 令和7年6月に自治区を通じて地域内へ全戸配布
- 地域内の小中学校に配布、小学校では通学団会で危険箇所の確認に活用
- マップをもとに地域会議で交通安全対策設備設置箇所を検討
- 自治区や交流館イベントでのマップ配布及びPR

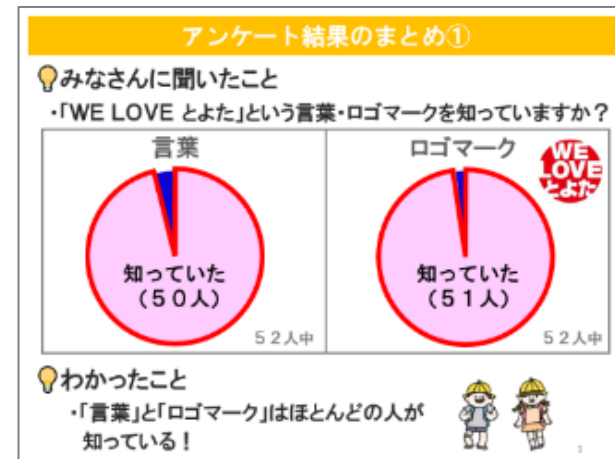


## ② アンケートの実施（「WE LOVE とよた」について）…経営戦略課

「WE LOVEとよた」の認知度や印象等について、子ども会議委員（小学5年生～高校生）にアンケート調査を実施。その後、アンケート結果をこどもたちに報告して共有した。

→郵送でのアンケート調査では成人を対象とすることが多い中、幅広い年代のこどもたちの認知状況や考えを確認することができた。

- ✓ 01 業務における「こども視点」を考えてみる
- ✓ 02 目的・テーマを考える
- ✓ 03 意見を聴く方法を考える
- ✓ 04 意見を聴く
- ✓ 05 意見の反映を検討する
- ✓ 06 結果をフィードバックする



経営戦略課 職員



こどもならではの率直な意見は大変参考になりました。

## ③投票の実施（とよた地域クラブ活動の愛称）…学び体験推進課

「とよた地域クラブ活動」の愛称を市民から募集。一次審査として、とよた地域クラブ活動推進協議会で12作品を選定。

→小中学生に自分事としてもらう契機とするため、二次審査として全小中学生へ投票を依頼。

きずなネットや学校を通して依頼し、児童生徒に一人一つ付与されているマイクロソフトアカウントを利用し投票を行った。

→およそ3000人の投票によって、愛称「とよクラ」を決定した。

- ✓ 01 業務における「こども視点」を考えてみる
- ✓ 02 目的・テーマを考える
- ✓ 03 意見を聴く方法を考える
- ✓ 04 意見を聴く
- ✓ 05 意見の反映を検討する
- ✓ 06 結果をフィードバックする

部活動は、とよた地域クラブ活動へ  
まちのみんなが応援団 **とよクラ**

これまで、教員が顧問となり学校主体で行ってきた中学校の部活動。  
令和3年度から、地域が主体となる活動「とよた地域クラブ活動」への移行が始まり、令和8年9月には完全移行する予定です。  
特集1では、「とよた地域クラブ活動」について紹介します。

**愛称は「とよクラ」!**  
親んでもらえる愛称を募集したところ、多くの市民のみなさんから900点を超える応募がありました。  
その中から、市内の全小中学生の投票によって「とよクラ」に決定しました。

ちいき かつどう  
**とよた地域クラブ活動**  
あいしょう  
**愛称投票**  
とうひょう  
令和7年7月18日まで  
みなさんで「愛称」を決めましょう!

「とよた地域クラブ活動とは??」  
これまで中学校の教員が顧問となり、学校主体で行ってきた部活動を、新たに地域が主体となる仕組に変えることを「部活動の地域展開」と言い、本市が行う新たな活動を「とよた地域クラブ活動」と呼んでいます。

「愛称の募集と審査方法」  
6月18日を期限とし、とよた地域クラブ活動の愛称（呼び方）を募集したところ、929票もの応募を頂きました。その後、一次審査を行い、二次審査に進む12案を選出しました。  
二次審査では、上記12案について市内の全小中学生に投票いただき、最も得票数の多い案を愛称として採用します。

投票方法	投票のポイント
◆ 下記二次元コードから投票	1 「部活動＝ブカツ」のようにわかりやすく、覚えやすく、親しみやすいもの
	2 「愛称に込めた思い」にこどもの楽しみ・成長・体験、地域への愛着醸成の要素が含まれるもの



## ⑤ワークショップ（行政計画の策定） …こども・若者政策課

こども・若者計画の策定において、複数回こどもワークショップを実施し、こどもたちの意見を基本理念や重点プロジェクトなどに反映

→ どのように意見を取り入れたか、こどもたちにフィードバックを行った

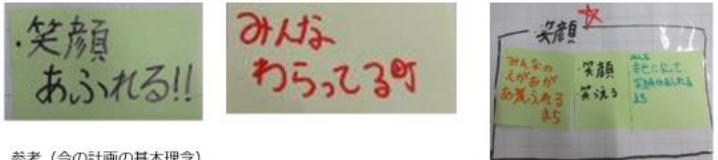
- ✓ 01 業務における「こども視点」を考えてみる
- ✓ 02 目的・テーマを考える
- ✓ 03 意見を聴く方法を考える
- ✓ 04 意見を聴く
- ✓ 05 意見の反映を検討する
- ✓ 06 結果をフィードバックする

フィードバックのときに使用したパワーポイント

新しい計画の基本理念（めざす姿） 意見  
ありがとう

**こどもたちの笑顔があふれるまち とよた**

こどもたちからの意見で多かった「みんな」「笑顔」「あふれる」というキーワードを入れて「こどもたちの笑顔があふれるまち とよた」にしました。また、**すべてのこどもたちに伝わるように、シンプルな表現**としました。

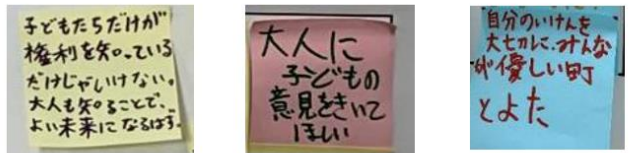


参考（今の計画の基本理念）  
「子ども・親・地域が育ち合う 子どもたちの笑顔が輝くまち豊田」

新しい計画で重点的に取り組むこと 意見  
ありがとう

**こどもの権利プロジェクト**

こどもたちから「**権利が尊重されるまち**」「**こどもたちだけが権利を知っているだけじゃいけない。大人も知ることによってよい未来になるはず**」「**大人に子どもの意見をきいてほしい**」などの意見がありました。重点的に取り組むプロジェクトに、こどもの権利のプロジェクトを設定します。



## ⑥ワークショップ（事業の立案） …こどもに意見を聴きたい所属 &こども・若者政策課の連携

事業を検討する所管課が、取組についてこどもと直接対話できる機会を持つことができる仕組み（こども提案課ワークショップ）を構築

- ✓ 01 業務における「こども視点」を考えてみる
- ✓ 02 目的・テーマを考える
- ✓ 03 意見を聴く方法を考える
- ✓ 04 意見を聴く
- ✓ 05 意見の反映を検討する
- ✓ 06 結果をフィードバックする

都市計画課と連携したワークショップでは、「こんな公園があったらいいな！」をテーマに、実際に公園をこどもたちと歩いて、理想の公園について話し合った。  
→ ワークショップで出たこどもの意見に対して、フィードバックを作成し、参加者へメールで報告するとともに市HPに掲載



## ⑦地域の課題についてこどもが考案（わくわく事業）…旭支所

旭中学校の総合的な学習の時間の中で「旭中地域会議」として旭地区の課題解決について中学生が考案

→ 出た意見を反映できるサイクルをつくれなかと考え、わくわく事業にこどもたちが提案しやすい枠を設定

※令和5年度からは、わくわく事業が浸透したことから一般の枠で申請してもらっている

⇒ 実際に採用されて中学生の案が実現されている（R2～毎年実現されている）

（例）旭のPRとして新しいマスコットキャラクター（さんさん旭さん）を作る  
ハラペーニョを中心とした旭地区の魅力を宣伝する活動など

【さんさん旭さん】



【風鈴祭りでの宣伝活動】



- ✓ 01 業務における「こども視点」を考えてみる
- ✓ 02 目的・テーマを考える
- ✓ 03 意見を聴く方法を考える
- ✓ 04 意見を聴く
- ✓ 05 意見の反映を検討する
- ✓ 06 結果をフィードバックする

## ⑧放課後児童クラブ “こどもの意見”を反映した好事例集

…こども・若者政策課

市内各クラブで、こどもの意見を反映した工夫ある取組がされている。その取組を評価し、よりよい運営につなげたいと現場支援員から事例を募集。集約した冊子を全クラブへ展開予定。

◎他クラブの取組を参考に、取り入れたり応用したりできる。

→豊田市の放課後児童クラブが、こどもにとってさらに充実した運営に。

- ✓ 01 業務における「こども視点」を考えてみる
- ✓ 02 目的・テーマを考える
- ✓ 03 意見を聴く方法を考える
- ✓ 04 意見を聴く
- ✓ 05 意見の反映を検討する
- ✓ 06 結果をフィードバックする



### 【事例】

- こども達が季節のイベントを企画・運営
- クラブのルールや今月のめあてを決めるこども会議の開催
- 目的別で部屋を分け（学習・遊びなど、こどもの意見から決定）こどもが自由に部屋を選択できるようにした